

渡良瀬川だより

No. 120

平成25年 1月 9日

国土交通省

渡良瀬川河川事務所

地域広報官

安全・安心な渡良瀬川としていくために

渡良瀬川河川事務所長 八木 裕人



(写真：渡良瀬橋右岸より)

新年あけましておめでとうございます。

今年は平成25年。平成となって四半世紀になるわけで、若い世代が昭和から徐々に平成に移っていく年のような気がします。

少子高齢化と言われて久しいですが、去年のロンドンオリンピックや若い人が活躍するスポーツ界を見ていると、それを支える経験豊かな先輩達と若い世代が一体となってこそ活躍だと思えます。

渡良瀬川における砂防・河川などの事業を進めるに当たっても、若い担当者から事務所長まで、一体となって仕事を進めることが安全・安心な川づくりに繋がっていくことと思います。

公共事業、特に河川に関わる事業については、事業が効果を発揮するまでに長い年月を要することが多く、上流から下流まで流域の状況や変化を踏まえ、一年一年の仕事の積み重ねが大切です。

また、事業の推進とは別に、造ったものの維持管理が重要であることは言うまでもなく、洪水などの災害時に砂防・河川施設の機能を発現させ、被害を最小限にすることが必要です。

渡良瀬川河川事務所は、今年も地域の方達と一体となって安全・安心な川づくりを目指すとともに、より元気な流域になることを目標に頑張っていますので、よろしくお願い致します。

渡良瀬川における大規模土砂災害を想定した合同防災訓練を実施しました。

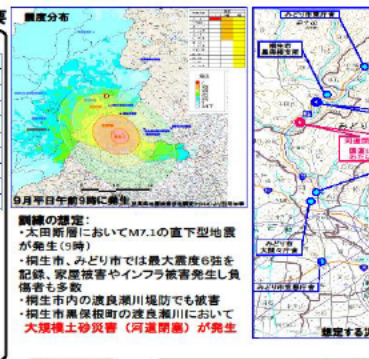
平成24年12月26日(水) 桐生市市民文化会館において、大規模土砂災害を想定した合同防災訓練を実施しました。

これは、渡良瀬川流域で地震による大規模な土砂災害(河道閉塞(天然ダム))が発生することを想定し、国土交通省、群馬県、桐生市、みどり市等の防災担当者の災害対応能力向上と関係機関の連携強化を通じて、円滑な防災対応により、被害の軽減を図ることを目的として机上訓練を実施したものです。

渡良瀬川流域大規模土砂災害合同防災訓練の概要

日時:平成24年12月26日(水) 13:00~16:30	
13:00~13:10 開会挨拶	参加機関
13:10~13:20 訓練の進め方等の確認	関東地方整備局
13:20~16:00 訓練:	渡良瀬川河川事務所
○初動体制確立	群馬県危機管理室
○初動対応	群馬県砂防課
○応急対策	群馬県衛生行政課税務所
(10分程度の休憩含む)	群馬県桐生土木事務所
16:00~16:20 意見交換	桐生市
16:20~16:25 講評	みどり市
16:25~16:30 挨拶・閉会	栃木県、日光市(オブザーバー)

会場:桐生市 市民文化会館 スカイホールA
参加機関:みどり市・桐生市・群馬県
オブザーバー:日光市、栃木県
訓練方式:学習型
訓練目的:関係機関の災害対応能力の向上と連携強化を通じて円滑な防災対応により被害の軽減を図ることを目的とする。



渡良瀬川流域大規模土砂災害合同防災訓練の概要

日時:平成24年12月26日(水) 13:00~16:30

13:00~13:10 開会挨拶	参加機関
13:10~13:20 訓練の進め方等の確認	関東地方整備局
13:20~16:00 訓練:	渡良瀬川河川事務所
○初動体制確立	群馬県危機管理室
○初動対応	群馬県砂防課
○応急対策	群馬県衛生行政課税務所
(10分程度の休憩含む)	群馬県桐生土木事務所
16:00~16:20 意見交換	桐生市
16:20~16:25 講評	みどり市
16:25~16:30 挨拶・閉会	栃木県、日光市(オブザーバー)

会場:桐生市 市民文化会館 スカイホールA
参加機関:みどり市・桐生市・群馬県
オブザーバー:日光市、栃木県
訓練方式:学習型
訓練目的:関係機関の災害対応能力の向上と連携強化を通じて円滑な防災対応により被害の軽減を図ることを目的とする。

○訓練の想定:
・大田断層においてM7.1の直下型地震が発生(9時)
・桐生市、みどり市では最大震度6強を記録、家屋被害やインフラ被害発生し負傷者も多数
・桐生市内の渡良瀬川堤防でも被害
・桐生市黒保根町の渡良瀬川において、大規模土砂災害(河道閉塞)が発生



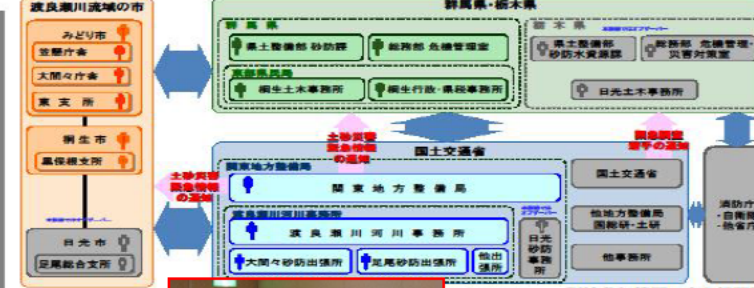
学習型の防災訓練とは
学習型防災訓練は、「進行者」と「参加機関」とに分かれて行われる。

進行者
訓練参加の各機関をひとまとまりの災害対応本部として災害対応本部を立ち立て、それぞれに割り振る。

訓練参加者
訓練参加の各機関をひとまとまりの災害対応本部として災害対応本部を立ち立て、それぞれに割り振る。

すべての参加者は、どの段階でどの機関がどのような対応をしているのか、その情報はどこから伝達されるのかを知ることができ、その時、自らは何を必要とするのか、理解することができる。

その結果、関係機関の様々な対応行動の把握・理解が期待できる。



訓練参加機関の主な相関図

市 県

回答1
〇〇市では組織内で情報周知し、県と国に報告します。

質問2
〇〇市からの情報を受けて県ではどのような対応をとりますか?

回答2
県では市からの情報に基づき、現地確認を行います。

質問3
〇〇市からの情報を受けて国ではどのような対応をとりますか?

回答3
国では市からの情報に基づき、ヘリ調査を実施します。

すべての参加者は、どの段階でどの機関がどのような対応をしているのかを知ることができ、その時、自らは何を必要とするのか、理解することができる。

その結果、関係機関の様々な対応行動の把握・理解が期待できる。

渡良瀬川河川事務所では、これらの訓練を行うことにより、いつ起こるか分からない災害に対し、迅速な対応ができるようにするとともに、地域のみなさんの安全を確保できるよう、職員全員がより一層、意識を高めていきますので、よろしくお願いします。

「境野地区水害避難訓練」について

桐生市境野地区では、昨年渡良瀬川や桐生川のはん濫を想定し、境野地区独自の水害避難ルールを検討し、水害時の避難場所やルールを決めたリーフレットを作成し地域住民への周知を図ってきました。今回、この水害避難ルールに則った避難訓練を実施することにより、地域住民の水害避難に対する意識向上を図るものです。

当事務所では、説明会冒頭での八木事務所長からの挨拶で水害時避難の大切さについて紹介するとともに、降雨体験車による疑似体験と事業紹介パネルの展示を行いました。

■ 訓練概要

日時	平成24年12月23日（日）8:00～12:00
対象者	桐生市境野町（第11区）に在住の住民（事前申込を原則とし実施）
参加人数	562名（事前申込人数632名：参加率89%）

■ 訓練の内容・構成

①河川水位の確認訓練	各町会であらかじめ決められた河川水位確認担当者が、インターネットなどを活用して、渡良瀬川や桐生川の水位を確認しました。
②避難呼びかけや伝達訓練	河川の水位が、あらかじめ決められた避難判断の基準水位に到達したと仮定して、区の役員や各町会の役員を中心に、各世帯へ避難を呼びかけを行いました。また、桐生市は、避難勧告を発令し、広報車等を用いて境野地区住民に避難を促しました。
③「水害避難場所」への避難訓練	避難の呼びかけや桐生市からの避難勧告を確認したら、各町会であらかじめ定められた「水害避難場所（3箇所）」まで避難しました。
④境野地区水害避難ルールについての説明会	境野地区の水害避難ルールについての説明会を開催し、いざというときの適切な避難方法について学びました。
⑤水害体験コーナー	降雨体験車（国土交通省）で最近激しくなっている雨の降り方について体験しました。また空き缶を使用した簡易的な炊飯（サバめし）の実演を行いました。

①河川水位の確認訓練



担当者が地デジ放送により渡良瀬川・桐生川の水位を確認



町会長へ水位確認結果を連絡

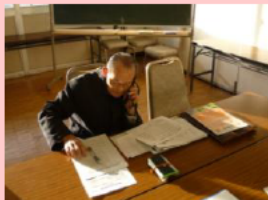


連絡を受けた町会長は区長へ水位の状況を報告



町会長からの水位確認報告を受け、区長は自主避難を判断

②避難の呼びかけや伝達訓練



区長から各町会長へ自主避難を勧告



町会長は組・班長へ区長の自主避難勧告を伝達



組・班長は各世帯へ区長の自主避難勧告を伝達



区長連絡を受け、桐生市・市消防の広報車が避難勧告を周知

③水害避難場所への避難訓練



自主避難勧告に従い、町会ごとに指定された水害避難場所へ避難



浸水しない高い階へ避難

④説明会 ⑤体験コーナー



群馬大学金井准教授による説明



降雨体験車コーナー

最優秀賞を中村土建(株)小野口さん、 優秀賞を原工業(株)阿部さんが受賞しました。

～「平成24年度 渡良瀬川工事安全施工研究発表会」について～

建設労働災害が多発する中で、建設工事等の工事現場における安全対策の取り組みが重要な課題となっています。

平成8年に発生した蒲原沢土石流災害では多くの方の尊い命が失われました。この災害の教訓を風化させず、安全施工技術のさらなる向上を目指して渡良瀬川工事安全協議会では、平成11年度から「工事安全施工研究発表会」を実施しており、平成24年度は12月18日に開催しました。

当日は、足労労働基準監督署長をはじめ関係者約70名が出席し、総発表数26議題の中から各出張所ごとに推薦された5議題と事務所から推薦した1議題の6議題発表が行われました。



発表された皆さん

施工条件や現場における配慮、積極的な取り組みや創意工夫、安全対策の効果や有益性等について評価した結果、急峻な山地の法面での工事で落石や墜落・転落災害の防止に努めるとともに、現場従事者の安全意識の向上に努めた「H23久蔵口山腹工事における安全対策について」を発表された中村土建(株)の小野口さんが最優秀賞になりました。

また、飛び石災害防止について様々な取り組みを行うとともに、地域における行事にも積極的に参加した原工業(株)の阿部さんの発表が優秀賞となりました。平成25年2月8日に関東地方整備局で行われる「砂防関係工事安全施工研究発表会」には事務所の代表として中村土建(株)の小野口さんの発表を推薦することになりました。



八木事務所長の挨拶



最優秀賞の小野口さん

(担当：工務課)

足尾銅山についての講習会を開催しました

12月17日(月)に古河機械金属株式会社足尾事業所の山崎副所長をお招きして、当事務所が足尾で実施している砂防事業と関連が深い足尾銅山の歴史について、職員の職務に対する理解を深める一環として講習会を開催しました。

私設電話や水力発電など「日本初」を数々生み出し、時代の最先端を走っていた足尾の繁栄や鉱毒問題への会社の対策として現在も実施している浄水場や堆積場の設置、緑化活動等を詳しくお話いただきました。

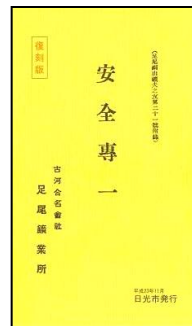
また、現在、工事現場で「安全第一」という言葉はよく見ますが、これより前に日本で初めて「安全専一」という安全最優先を打ち出した会社が古河機械金属株式会社であり、町を挙げて「安全専一」に取り組んでいた当時の映像がとても印象的でした。

教科書にも出てくる有名な足尾銅山ですが、その歴史や現状までは詳しく知らないという事務所職員も多く、37名の参加者はみな興味を持って受講していました。

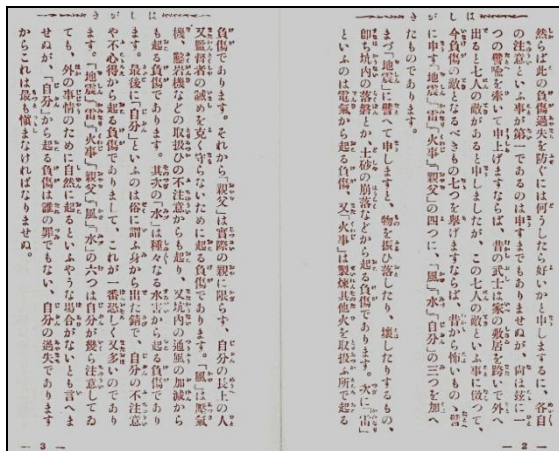
本講習会の趣旨を御理解いただき、講師を務めていただきました山崎副所長に、この場をお借りして御礼申し上げます。



古河機械金属(株)
山崎副所長



「安全専一」(復刻版)表紙



「安全専一」(復刻版)はしがき(抜粋)

(担当：総務課・足尾砂防出張所)

渡良瀬川源流を訪ねて

10月23日(火)渡良瀬川の源流である皇海山を踏査してきました。途中、急な斜面などもあり慣れない踏査のため少し苦労しましたが、全員が山頂まで登り切ることができました。

※往復 約4時間 群馬県側
不動沢ルート



渡良瀬川水源碑



登山道の様子

山頂手前の渡良瀬川流域と利根川流域を分ける不動沢のコルから水源地となる山々を見渡して思ったことは、「踏査中に見ていた小さな沢の水が集まって、最後にはあのような大きな川になるんだな」と、改めて感じたことと「この水源地となる山の自然を守りながら、洪水や土砂災害を未然に防いでいくのが私たち渡良瀬川河川事務所の仕事なんだな」と、いうことでした。水源碑のある山頂周辺は、原生林に囲まれていて、残念ながら眺望は望めませんでした。

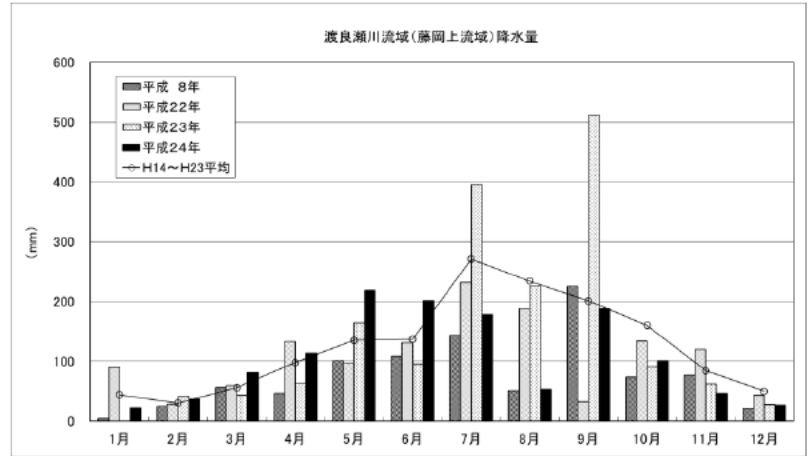
前日からの予報のとおり小雨の降る中での踏査となりましたが、自分の足で水源地に立つことができ、非常に有意義なものとなりました。

(担当：経理課)

○渡良瀬川流域の降水量

12月の渡良瀬川流域（藤岡上流域）の降水量は26mmとなり、平成14年から平成23年の平均降水量と比べ約53%となっています。

◆藤岡上流域とは
渡良瀬遊水地から上流域



○草木ダムの貯水状況

1月7日現在、貯水位はE L 453.05m、貯水量は48,920千m³で貯水率96.9%となっています。

■ E L : 海拔標高

写真は1月7日時点のものです



展望台より撮影

誌面についてのご意見や感想をお待ちしています。パソコンからは渡良瀬川河川事務所ホームページの「お問い合わせ」から投稿していただけます。電話・FAXは下記番号へ、郵便の場合は下記住所「渡良瀬川河川事務所 地域広報官」あてでお願いします。



国土交通省関東地方整備局
渡良瀬川河川事務所

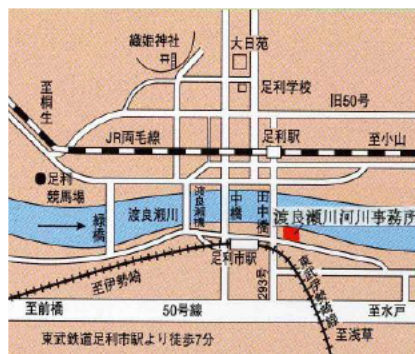
〒326-0822
栃木県足利市田中町661-3

<http://www.ktr.mlit.go.jp/watarase/>
TEL 0284(73)5551
FAX 0284(73)5582

川の防災情報
リアルタイムの雨量と
水位を知りたい時は
<http://i.river.go.jp>



【案内図及び連絡先】



総務課	0284(73)5551
経理課	0284(73)5552
用地課	0284(73)5553
工務課	0284(73)5554
品質保証課	0284(73)5556
調砂防査課	0284(73)5558
管防理課	0284(73)5559
佐野河川出張所	0284(73)5557
桐生出張所	0283(21)6810
足利出張所	0277(44)3724
大間々砂防出張所	0284(71)2202
足尾砂防出張所	0277(72)1664
	0288(93)2151